

横浜国際総合競技場ボランティアだより

INTERNATIONAL
STADIUM
YOKOHAMA

ボランチわ

ボランチ【ポルトガル語で舵とり】、わ【輪、和】を意味します

2004年
3月7日発行
春号
Vol.15

平成15年度 研修会 第1弾

ボランティア講演会 ~ 岡田監督を迎えて ~

とても緊張して臨んだ講演会の司会。開始直前にご挨拶した時、気さくに笑顔で対応していただき、多少緊張がほぐれました。ご多忙中のところ、お時間を割いて頂いての講演、短い時間でしたが、昨年のF・マリノスがどのように戦ってきたかを熱く語って下さいました。サッカーの専門的なお話もありましたが、どちらかという私達にも通ずる日常の取り組み方、考え方のお話が多かったように思います。この紙面で簡単に講演会を振り返ってみましょう。

F・マリノスの監督になって、まず取り組んだことは、意識改革。上手くて能力のある選手が多いのに煮え切らないチームという印象から、技術うんぬんではない気持ちの部分強化しようと、4つのテーマを掲げてスタートしました。まずは“Enjoy”。楽しむという意味です。サッカーはミスの競技、ミスを恐れ、自分の役割だけをやるといのはやめて、自分が楽しく生き生きと幸福感をもってプレイし、観ている人たちにも感動を与えてほしい。次に“Thinking by Yourself”。これは自分自身で考えるという意味です。監督がこう言うからとか誰かがやってくれるとか、そうじゃなくて選手一人一人が自分で何ができるか考えて自分がチームを作っているという意識を持ってほしい。そして3つ目に“Concentration”。集中するという意味です。単に練習するのではなく集中して質を上げ



て差をつける。1本のダッシュをきちんと走るか5m手前で頬を緩めるか。それくらい小さなことをきちんとやるチームになってほしい。4つ目は“Aggressive Play”。ピッチに入ったら戦術やいろんな能書きはいろいろな。目の前の敵に絶対負けないという強い気持ちを持って戦ってほしい。以上のテ

ーマを実行する為には、コミュニケーションが大事です。コミュニケーションとは、相手を知ることから始まり、それがすべてなのです。選手達はひたむきに戦い、優勝を手に入れ、大きな素晴らしい花を咲かせてくれました。しかし、それを枝や幹となって支えているスタッフ、根となり木を支えているボランティアの方々、そして栄養を与

える土となっているサポーターの皆さん、どれが欠けてもこの花は咲かなかった、本当にそう思います。今年もぜひ力を貸していただきたいと思います。

後半のインタビューコーナーでは、選手時代の自分を監督の自分は使わないと発言されたり、監督の目指すサッカー論を語って下さいました。最後の「監督をやめて、普通の生活に入ろうとした時に横浜国際のボランティアの募集があったら応募しますか？」の問いに「ぜひ、やりたいと思います」とお答えになられて、大きな拍手がおこりました。何年後は仲間ですね(笑)。【編集委員 宮川】

< 1月18日開催 / 参加者：160名 >

祝！ 横浜F・マリノス 2003年J1リーグ完全優勝！

2004年はアジアも視野に、そして、常勝チームに！ 一緒にがんばろう！

平成 15 年度 研修会 第 2 弾 ~ 運営の部 ~

自分たちで何ができるか、今後の活動を考えよう！

平成 15 年度『研修会 & 交流会』1 月 24 日に開催されました。その中の研修会ディスカッションのテーマ『今後の運営ボランティアの活動を前向きに考える』として 3 項目が提示され、研修会参加者は熱心に熱い意見が展開されました。16 のグループに分かれ多くの意見が出されましたが、複数の組から出された意見をまとめてみました。

テーマ・1

ボランティア活動で『もっと楽しく、もっと達成感のある活動』にするにはどうしたらよいか。

- ・お客さまから「有難う」の感謝の言葉を戴いた時は非常に達成感が味わえた。
- ・1 日の活動でお客様に大きな声を掛ける事ができ、ボランティア同士のコミュニケーションが楽しく気持ち良く出来た時。
- ・参加率が落ちている事について、数組から以下の発言がありました。
 プレゼントやご褒美があっても良いのではないか（マリノスのチケットの無料配布等）
 休憩時間中の観戦・ボランティア席の確保（一定の規律とマナーを守る事による）
 観戦する事により臨場感を味わいたい。
- ・リーダーによって言う事が違う、指示等については統一して欲しい。又新人には優しく丁寧に説明をしてもらいたい。

テーマ・2

活動で『もっと親しく もっと気持ちよく活動』にするにはどうしたらよいか

- ・旧人の人たちは、仲間同士、又はグループ化されていて新しい人たちにとっては中に入れない雰囲気が出来ている。（新旧の間に壁があるのではないか）
- ・当日の配置が決まり、グループごとに集まってリーダーの活動説明の前に、グループ全員の自己紹介をする事により親密感が沸く。
- ・休憩時間中に、もっといろんな人と雑談をする事によりコミュニケーションを図る。
- ・人員の配置で、暇のところと忙しい部署とがある。グループ間の応援が出来るように活動に柔軟性を持たせる。
- ・IDカードの名前の活字が小さく見難い。
 [これについては事務局がすぐに対応して頂き、16 年度の ID カードより大きくなります]

テーマ・3

ボランティア個人の特性を生かしながら、今後どんな活動が展開できるか

- ・自主活動を多くする事により、ボランティア同士の活動を活発にする。
- ・名簿を作成する事によりボランティア同士の横の繋がりができてくる。「個人情報の兼ね合いも有るが」電話、メールアドレス、趣味、特技等公表できる人は登録する。
- ・ここのボランティアは活動で自分の意思が発揮する場面が少ない。自分でテーマを持って活動を行いたい。
- ・ボランチわで、新人紹介欄を設けて欲しい。



自主活動発表も行いました。

その他沢山の意見が出されていました。出された意見への対応はこれから自分たちで導き出していかなければなりません。16 年度からの新体制として部会制が発足いたします。「部会に入る事により、自ら積極的に情報を得て自分の特性を生かした活動に取り組んで行きたい」とのご意見も有りました。賛成です。研修会で意見を言うだけではなく、新体制に入り自分の思っていることを積極的にアピールする事も必要ではないかと思われま。議事録をまとめるにあたり、ボランティア O さんのメモを了解の上活用させていただきました。ここにお礼申し上げます。
 [編集委員 高瀬]

平成 15 年度 研修会 第 2 弾 ~ 見学ツアーの部 ~

まさに Thinking by yourself !!

1月24日、見学ツアーボランティアの研修は40名の参加者により以下のとおり行われました。

1. 自己紹介

平成15年度から「ワールドカップスタジアムツアー」がスタートし、また、大幅に新規の見学ツアーボランティアが追加されました。この1年間の活動を振り返って、自己紹介が行われました。

2. 新しいコース(2階席)の検討・チェック

2階席を見学コースに組入れるため、実際に2階席へ行ってみました。
(現在、コースに組込んで実施中です)

3. ツアーアンケートについて (配布資料の中から)

各見学ボランティアから提案されたアイデアについて、競技場の検討結果(実施するのが難しい、不可能、まだ検討中、実施したい、など)が報告されました。

4. メーリングリストについて

見学ツアーのメーリングリストを立ち上げることになりました。

情報の共有、連絡事項などに使用されます。

メーリングリストに参加されないボランティアには、印刷したものを活動日など競技場へ来たときに閲覧できるように配慮されています。

5. 部会の立ち上げ

「英語(語学)部会」「特別ツアーコース検討部会」「新マニュアル部会」の3つが発足されました。

6. その他

「車椅子デー」「外国人デー」などを設定してみたらどうかなどの提案もありました。

緒方二三男(T・U)

『11年組よ、初心に帰ろう!』

舛永正夫(U)

1月24日の研修交流会では、IDナンバー“11×××”の方々へ多くの意見が出されました。11年組は4年間新人なしで活動し、また、研修に参加して来ました。一方、昨年は初めて15年組を迎えました。そして今年には16年組が多数加わることでしょう。1月の研修会には多くの新人を交えて行われ、フレッシュな意見が出され、その中でメモしたものを次のとおり列記します。

< 11年組の皆さんへの意見 >

- ・ 仕事の慣れに甘えていませんか?
- ・ 新人の意見を入れて新風を
- ・ 現在の雰囲気は新人には入り難いものがある
- ・ マニュアル化されすぎているのでは?
- ・ もっと新人にわかりやすく親しみやすく指導してほしい
- ・ ID番号の11を省略せずに使って欲しい。15年組は差別を感じる
- ・ お客様のことを考えて活動しよう

これらの意見は、今までリーダーや事務局をみて活動し、全く新人のことを考えていなかった私には「アッ」と驚かされました。よりよい競技場ボランティアにするには11年組には「後輩の指導、育成の任務」が付け加わるはずで、そして、新人には一寸とした気配りも必要です。

今年にはボランティア500人体制になるでしょう。多くの新人を迎えます。従来のやり方、考え方に新しい考え方を取り入れ、特色ある競技場ボランティアの展開をはかるうではありませんか。それには初心に帰って、皆でボランティアのあり方を考え直してみることも必要だと感じました。

見学128回 あなたの印象に残っている活動は・・・？

今年の活動実績を振り返ってみましょう！

運営34回

平成15年度 運営ボランティア実績表

回数	月日	活動イベント	割当数	出席数	出席率
1	3 / 8 (土)	Jナビスコカップ FC東京	156	150	96.2%
2	3 / 9 (日)	横浜国際総合競技場市民感謝デー	27	27	100.0%
3	4 / 5 (土)	Jリーグ ベガルタ仙台	156	145	92.9%
4	4 / 20 (日)	Jリーグ 大分トリニータ	156	143	91.7%
5	4 / 23 (水)	Jナビスコカップ ベガルタ仙台	156	103	66.0%
6	4 / 29 (祝)	Jリーグ 名古屋グランパス	156	154	98.7%
7	5 / 4 (日)	チビリンピック準備	50	52	104.0%
8	5 / 5 (月)	チビリンピック	200	88	44.0%
9	5 / 10 (土)	Jリーグ FC東京	156	142	91.0%
10	5 / 25 (土)	Jリーグ 浦和レッズ	156	154	98.7%
11	6 / 21 (土)	フリーマーケット入場者調査	10	10	100.0%
12	6 / 29 (日)	ファミリーフットサル大会	48	46	95.8%
13	7 / 12 (土)	Jリーグ 京都パープルサンガ	156	140	89.7%
14	7 / 16 (水)	Jナビスコカップ 柏レイソル	156	89	57.1%
15	8 / 2 (土)	Jリーグ ヴィッセル神戸	156	124	79.5%
16	8 / 2 (土)	新横浜パフォーマンス	20	20	100.0%
17	8 / 3 (日)	新横浜パフォーマンス	30	29	96.7%
18	8 / 6 (水)	Jリーグ レッジーナ	100	100	100.0%
19	8 / 13 (水)	Jナビスコカップ ジュビロ磐田	156	83	53.2%
20	8 / 16 (土)	Jリーグ 東京ヴェルディ1969	156	103	66.0%
21	9 / 6 (土)	Jリーグ 柏レイソル	156	145	92.9%
22	9 / 20 (土)	Jリーグ 清水エスパルス	156	133	85.3%
23	9 / 23 (祝)	スーパー陸上競技大会	178	122	68.5%
24	9 / 27 (土)	Jリーグ ガンバ大阪	156	109	69.9%
25	9 / 28 (日)	J2 横浜FC VS 川崎フロンターレ	30	30	100.0%
26	10 / 4 (土)	Jリーグ ジェフ市原	156	140	89.7%
27	10 / 12 (日)	スポーツレクリエーションフェスティバル	15	15	100.0%
28	10 / 13 (祝)	スポーツレクリエーションフェスティバル	63	63	100.0%
29	11 / 15 (土)	Jリーグ 鹿島アントラーズ	156	124	79.5%
30	11 / 23 (日)	J2 横浜FC VS コンサドーレ札幌	30	30	100.0%
31	11 / 29 (土)	Jリーグ ジュビロ磐田	156	140	89.7%
32	12 / 10 (水)	東アジアサッカー大会	60	60	100.0%
33	12 / 10 (水)	東アジアサッカー大会	60	60	100.0%
34	2 / 29 (日)	第6回横浜国際競技場杯決勝戦	16	16	100.0%
計			3,745	3,089	82.5%

平成15年度 見学ボランティア実績表

月	回数	予定	出席数	出席率	月	回数	予定	出席数	出席率
4月	6	50	50	100.0%	9月	16	95	77	81.1%
5月	15	140	89	63.5%	10月	14	60	58	96.7%
6月	16	131	116	88.5%	11月	20	83	78	94.0%
7月	15	150	95	63.3%	12月	14	62	50	80.6%
8月	12	120	81	67.5%	計	128	891	694	77.9%

平成16年度 運営ボランティア事前研修会 == 新体制に向けて ==

2月7日と15日に運営ボランティアの新年度研修会が行われました。ニッソーサービス様による実技研修と事務局より心構えと新体制組織の説明がされました。新体制とは、事務局の強化と部会制による自主活動の場を増やし、より良いボランティア活動をしていこうというものです。すでに各部会による第1回目の総会が2月28日に行われ、各部の方向性などが話し合われました。ここに各部会のメンバーを紹介をします。(2月28日現在)

事務局員	11072 高瀬勝	11297 宮川弘恵	11303 中山正	11423 佐藤大治
補助事務局員	11026 浅井悦子	11240 中藤早苗	11420 筒井由美子	15007 小野愛生
	11037 井出清四郎	11256 瀬尾孝子	11626 中島節子	15058 森川文子
	11066 大輪正美	11287 島田千尋	11649 花井玲子	15061 山本涼子
	11128 能沢末喜	11409 井上敦子	11375 鈴木郁子	

運営部会	11066 大輪正美	11202 菊池喜代勝	11349 餅原安広	15059 矢島佐絵
	11079 安田十四雄	11222 鈴木直代	11422 横塚雅実	15064 丹羽和央
	11092 大家啓伸	11258 実本勝恵	11548 白沢敏郎	16018 池谷鹿次
	11171 上田敏彦	11279 山本勇	15009 川口隆	
	11201 佐藤保	11319 加藤史典	15014 佐藤武弘	

環境・美化部会	11046 荻野五十美	11596 羽深和子	15068 吉川明	16219 岡崎美波
	11180 福田一夫	11613 芝尾とも子	15103 熊谷政彦	16210 船見祐子
	11202 菊池喜代勝	15024 花井節	15125 横田国夫	
	11275 菅沼哲也	15056 峰尾悦子	16008 中井雄三	
	11296 松原豊	15059 矢島佐絵	16009 溝口晃一	

イベント部会	11026 浅井悦子	11624 柴田沙希子	15065 砂押明美	16002 井上淳史
	11076 小林正行	11649 花井玲子	15102 加藤寛	16217 馬場由美子
	11092 大家啓伸	11671 平川みゆき	15110 渡邊修	16218 濱田佳見
	11190 大橋靖子	11694 田中龍男	15210 岩根美奈子	
	11195 久保正文	15034 若林潤一	15900 飯星広徳	
	11337 鈴木崇	15045 真田志満子	15901 飯星美樹	

情報部会	11072 高瀬勝	11950 緒方二三男	15011 蔵中一浩	15128 落合明人
	11237 奥山敏夫	11954 橋口正	15014 佐藤武弘	15134 土手健治
	11409 井上敦子	15009 川口隆	15055 三浦千香子	15135 林春生

研修・交流部会	11079 安田十四雄	11354 伊藤多栄子	15007 小野愛生	15205 濱田利江
	11171 上田敏彦	11501 石川比呂子	15031 山中徳広	16020 高橋義彦
	11349 餅原安広	11905 浅見圭一	15137 山田強	

事務局を除く各部会にはいつでも入会することができます。詳しくは運営ボランティアガイドに各部の活動内容が書いてありますのでご覧下さい。(活動内容は多少の変更があります)興味のある部会にぜひ入会して積極的に活動してみませんか?あくまでも自主活動ですので『自分の出来ることを出来る範囲で無理をせず、多少の責任をもった活動』になります。また、見学ツアーボランティアの方の参加も大歓迎です。

① いんふおーめーしょん

事務局だより

まもなく2004年の新年度がスタートします。昨年からの更新者と新規登録者の手続きにより、運営365名、見学61名になりました。(新規登録者は運営ボランティアのみ) 新たな年度に向けて、それぞれのボランティアの皆様がご自身の活動に目標を持ち、達成感のある1年間をお過ごしいただきますようお願い致します。

イベントスケジュール

月	日	イベント名
3月	13日	J1 横浜 vs 浦和
4月	3日	J1 横浜 vs C大阪
	17日	J1 横浜 vs G大阪
	29日	J北 横浜 vs 広島

3月～4月のスタジアムツアー開催日 (10:30・12:00・13:30・15:00 スタート)

3月 / 7(日)・8(月)・10(水)・11(木)・12(金)・14(日)・15(月)・17(水)・18(木)・19(金)・21(日)・22(月)・24(水)・25(木)・26(金)・27(土)・28(日)・29(月)・31(水)
 4月 / 1(木)・2(金)・4(日)・5(月)・9(金)・10(土)・11(日)・14(水)・15(木)・16(金)・18(日)・19(月)・22(月)・23(金)・24(土)・25(日)・28(水)・30(金)

発足から素早い企画！ 研修・交流部会主催

静岡スタジアム・エコパへ行こう!! 5月15日(土)開催予定

ジュビロ磐田 vs 横浜F・マリノス戦観戦と地元静岡のボランティアとの交流日帰りバスツアー
 お申し込み・問い合わせは研修・交流部会 浅見まで

TEL: 090-9234-7650 メールアドレス 9s9mi02@k3.dion.ne.jp

素敵な贈り物が届きました。

見学ツアーに参加した横浜市立駒林小学校3年生から一冊の小冊子が届きました。当日ツアーを担当した生田さんと荒畑さんにあてた感想と感謝の言葉とともに、当日のツアーで得た知識を学校の催しと新聞で発表すると書かれていました。とてもうれしいことですね。この小冊子はボランティアルームにありますので、ぜひ、ご覧下さい。



編集後記

「ボランチわ」も今号で15号となり、現編集委員での発行は最後となりました。「ボランチわ」の必要性があるのかと不安に思ったこともありましたが、昨年末のアンケートで多数の方に必要とされていたことに安堵しました。今後の情報提供は情報部会へ受け継がれます。現在、情報部会では、今後の活動方針について検討中です。情報の共有化は本当に難しい問題ですが、今後の情報部会の展開に期待します。
 編集委員一同

編集・発行 / 〒222-0036 横浜市港北区小机町3300 横浜国際総合競技場内

ボランティア会報誌『ボランチわ』編集部 Tel:045(477)5006 Fax:045(477)5002